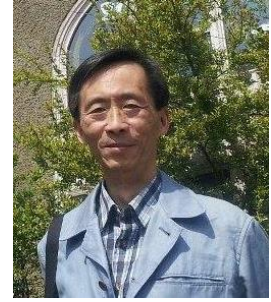


まちの先生講座 コラボ型講座企画書

講師名 岡野 亘

講師紹介（自己紹介）

日大山口研究室の近代建築の調査研究に加わり、後年「入間市の文化遺産をいかす会」立ち上げ時に会長を務める。



講師名 神立 知早子

講師紹介（自己紹介）

国立音楽大学卒業、フリーランス。岡野先生の魅力ある講話に演奏でお花を添えさせていただきます。



講座名 いるまの近代化、現代への道のり、証を訪ねて

PRポイント（受講を希望する方に分かりやすくご記入ください）

当地の代官でもあった江川太郎左衛門は幕末に何を成したのか。明治となり当地に教会ができ、石川組製糸が操業。鉄道が敷かれ産業革命興り、敗戦により米軍が進駐。その歩み、ホルンの調べと共に探ります。

講座内容（教えていただく内容、スケジュール等 具体的にお書きください）

【1回目】担当講師名 岡野 亘

伊豆国韮山を本拠とした世襲代官江川太郎左衛門、36代英龍。治世地は、武蔵国、相模国、伊豆国、駿河国、伊豆国附島々に及び、その中に黒須、扇町屋、藤沢、新久、中神、小谷田、上谷ヶ貫、宮寺、二本木が含まれていた。ペリー来航の幕末、洋学に学び、海防掛に命じられ品川台場（お台場）を築造。韮山に大砲を鑄造するための反射炉を築造（世界遺産）。民生・海防の整備で実績を残し「近代化の父」と呼ばれている、江川太郎左衛門英龍に学びます。

【2回目】担当講師名 岡野 亘

明治26年、石川幾太郎により座繰り製糸で石川組を創業し、早くも翌年器械製糸に転向。キリスト教精神の基に経営を発展させ最盛期、日本6位を記録しました。また石川幾太郎は明治45年設立の武蔵野鉄道発起人の一人となり、社長の任にもありました。入間の地を含む地域の近代化、産業革命の歩みを探ります。

【3回目】担当講師名 岡野 亘

石川組創立に先立つ、大日本帝国憲法が公布された明治22年に創立した、豊岡美以教会（現武蔵豊岡教会）の歩みと、大正12年献堂の礼拝堂と、その設計者 W.M. ヴォーリズと設計事務所所員、地元職人の業・技を、来年献堂100周年を迎える礼拝堂で感受します。

【4回目】担当講師名 神立知早子

礼拝堂の響きの美しさを、金管楽器ホルンの音を通してあじわいます。1階、2階など、聴く場所が変わることで受ける響きの印象をお楽しみください。讃美歌やおなじみの曲を演奏後、ホルン雑学コーナーもご用意します。

【5回目】担当講師名 岡野 亘

昭和 13 年陸軍航空士官学校が所沢から豊岡に移転開講し、これに伴って陸軍航空士官学校将校・下士官向け家族住宅が建て始められました。敗戦により入間・狭山の地にも連合軍（米軍）が進駐し、陸軍航空士官学校豊岡飛行場は「IRUMAGAWA AIR BASE」となり「JOHNSON AIR BASE」と命名されました。基地の軍人及び様々な職種の職員・従業員のための家族住宅がジョンソン基地の中に建てられ、基地拡大により基地外にも家族住宅が建てられました。通称「米軍ハウス」と呼ばれている住宅は今も残され、こうした時代背景を追いながら、新しいまちの形成を見ていきます。

【6回目】担当講師名 岡野 亘

「ジョウソンタウン」として整備されたタウン内に改修保存されている、陸軍航空士官学校将校・下士官向け家族住宅、米軍ハウスを歩き見学し、まとめの講座とします。

受講者に持参してもらう物 担当講師名 岡野 亘

筆記用具

その他（使用する教材など）

受講者に持参してもらう物 担当講師名

その他（使用する教材など）